（別紙3）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャレンジ・キッズ西脇第2教室			
○保護者評価実施期間	2025年9月15日		～	2025年10月29日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	24	（回答者数）	24
○従業者評価実施期間	2025年9月15日		～	2025年10月29日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	10	（回答者数）	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校や関係機関と連携を取り様子を確認している。	課題に解決向けて、目標の共有と役割の確認と分担、統一した関わりを意識的に実施している。	事業所での様子を伝え、家庭や学校での困り感についてさらに共有する。
2	個人の課題に合った療育を実施している。	個人的に行うものや集団で行うプログラムを用意し、児童の課題に応じて療育の内容を調整している。	療育の種類を増やし、進捗状況の共有をはかる。
3	学んだことの汎化や応用に向けて、非構成的に行うプログラムを（感覚統合・SST）実施している。	汎化に向けて非構成的に行う集団のプログラムを多く用意している。こどもの状況や状態に合わせて個別学習、集団学習の割合をタイムリーに調整している。	参加メンバーに応じてプログラムの内容を工夫する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎への対応が難しいことがある。	職員の人数と需要のバランスが悪いこと、一回に乗れる人数が少ないため。	職員の充実と車種の見直し。
2	保護者同時の交流の場が少ない	日程調整が困難。人員の不足	
3			